

『わがまま』 作：ポチ子

好きな事では生きてはいけない。

年齢を重ねて分かったのだと、

そう呟いた。

でも本当は、

そもそも好きな事も分からない。

得意なことだっただけだし、

何をしたいのか聞かれても、

多分答えられない。

好きなことをしたいんじゃない、

嫌なことをしたくないだけなのかもしれない。

わがままを言うなど、

そんなのが通用するわけがないと、

自分自身で思う。

だから、毎日嫌々早起きをして、

行きたくもない会社に行って、

したくもない仕事をする。

そんな人生に慣れてしまった。

昼間はそんなことないのに、

家に帰ってベッドに寝転んだ瞬間、虚しくなる。

自分で選んだ人生なのに、

責任から逃れたくなくて、

こんなはずじゃなかった、

もっといい未来があったはずだと、

自分に向けて言い訳をする。

そうしてる間にも時間は過ぎて、

私は歳をとっていく。